

弘前大学医学部附属病院で診療を受けられた皆様へ

当院では下記の臨床研究に用いるため、患者さんの試料・情報を利用させていただいておりますので、お知らせいたします。

臨床研究名称： 病理組織の免疫染色に関する精度管理

研究の目的

「がん」の種類や進行度により、手術後の経過に差が出てきます。手術で切除されたがんの一部より、顕微鏡標本（病理組織標本）が作製されて、その標本を検討することで、がんの種類や進行度が決定します。これまで、顕微鏡標本を解析する際に必要な免疫染色の精度管理に関して、十分な解析が行われてきませんでした。今回の研究では、免疫染色の客観性（用いる染色機器・試薬による差異）を明らかにします。

研究実施期間： 実施許可日 ~ 2025年 3月 31日

対象となる方： 附属病院の消化器外科もしくは産科婦人科を受診し、胃がん、大腸がん、卵巣がん、子宮体がんと診断され、2024年1月1日~2024年6月30日までの間に手術を受けられた方

利用させていただきたい試料・情報について

（他機関に提供する場合、提供先機関の名称及び当該機関の研究責任者氏名含む）

手術で切除されたがんの病理組織検体のうち、顕微鏡標本が作製されなかった部分（残余検体）を利用させていただき、今回検討する免疫染色用の標本作製して、免疫染色の客観性（用いる染色機器・試薬による差異）を検討します。すでに、がんの診断（種類・進行度など）が終了している残余検体を用いるために、診療や治療などへの影響は一切ありません。当院のカルテに記録されている情報を用いることもしません。

残余検体を用いる際には、氏名、住所、電話番号、患者番号等個人を特定できる情報を削除し、本研究のための固有の番号を付して（これを匿名化といいます）行います。

研究成果については、学会発表や論文投稿等の方法で公表されますが、その内容から対象者個人が特定される事はありません。研究から得られた個別の結果については原則としてお答えしませんが、希望される方は下記連絡先までご連絡ください。

本研究課題について、より詳細な内容をお知りになりたい場合や、試料・情報の利用に同意いただけない患者さん/その代理人の方は、以下の連絡先までご連絡ください。

研究への利用に同意いただけない場合、当該患者さんの試料・情報については対象から除外します。ただし、連絡いただいた時点で既に研究成果公表済の場合は、該当者のデータのみを削除する等の対応は出来かねますので、ご了承願います。

本件連絡先

弘前大学大学院医学研究科病理生命科学講座・特任教授 鬼島 宏
電話：0172-39-5029 FAX：0172-39-5030